

研究への協力をお願い

研究課題名:

アルツハイマー病早期診断に関与する蛋白の同定およびその解析

共同研究機関および研究責任者:

国立感染症研究所 感染病理部 飛梅 実

主研究機関および研究代表者:

東京医科大学 人体病理学分野 高橋 礼典
東京医科大学病院 病理診断科

研究の目的:

高齢化社会が進むにつれて、認知症患者は増加を続けていますが、アルツハイマー病に対する有効な早期診断法は確立されていません。早期のアルツハイマー病や軽度認知機能障害の脳組織でどのような蛋白質が多く発現されているかを調べます。それによって、今後、血液、髄液等でその蛋白質が多く発現してきた場合、早い段階で病気であることを予測することができます。このようにアルツハイマー病の早期診断法の確立を目的とする研究です。

研究に利用する試料、情報:

2001年1月1日～2020年12月31日の間に脳腫瘍性病変、脳血管性病変等の脳疾患に対する手術を受けられ、診断のために東京医科大学病院病理診断科に提出された検体の中で、認知機能障害を罹患されていた方々の検体が対象となります。必要に応じて、国立感染症研究所感染病理部に提供された組織の検体も対象とします。対象の方と病理組織を比較するための陰性対照として、認知機能障害を罹患していない40歳以上の方々、もしくは認知機能障害が発症していない30歳以下の方々からの検体も使用させていただきます。対象の方々の年齢は40-100歳で、性別、治療の有無は問われません。

いずれの検体も年齢、性別と認知機能障害、アルツハイマー病と診断されているかどうかをカルテ及び病理診断の際に使用する東京医科大学病院病理診断科の病理業務支援システムから情報収集します。国立感染症研究所から提供された検体に関しては依頼された医療機関からの年齢、性別、基礎疾患、既往歴、臨床症状等に関する情報を参考にします。

研究実施に関わる情報等を取扱う際は、被験者の個人情報とは関係ない登録番号を

付して加工した状態で管理し、被験者の秘密保護に充分配慮します。加工したデータは東京医科大学病院病理診断科医局内のパスワードの必要なパソコンに保管します。入力、閲覧は医療研究倫理講習を修了した者で、所属機関の倫理委員会の審査を経て、受け入れが許可された者に限ります。共同研究機関である国立感染症研究所の研究者とデータ解析をする際には、研究代表者が、加工して個人の特定を不可能にした情報にパスワードをかけてからデータを提供します。情報提供の際は、提供に関する記録を作成し、当該記録を提供した日から3年間保管します。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにし、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の情報等を使用しません。

研究の方法:

提供された検体中でどのような蛋白質が多く発現されているかを主に脳組織標本を製して、免疫組織化学的、組織形態学的に解析します。

研究期間:

2020年11月20日から2025年3月31日

問い合わせ先:

東京医科大学病院 病理診断科 高橋 礼典
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
電話番号 03-3342-6111 内線 3801
メール takaharh@tokyo-med.ac.jp